

## 編集後記

昨年開催された日本皮膚科学会東部支部学術大会のシンポジウムで、本誌とのコラボセッションが実現した。本年4月号の学会ハイライトでもその内容について簡単に述べたが、学会に参加していない読者もおられるので、本誌に関する要望について報告する。やはり電子媒体導入の希望が多く、診察室ですぐに調べたいときに手持ちのスマホでキーワードを検索するとPDF化した論文に行きつくという非常に役に立つ、という意見だった。また、貴重な症例(予想外の診断だった、治療が奏効した、等)を経験し、日本語論文として本誌に掲載したい場合、the case of the monthというコーナーがあるので、編集部連絡をいただけたらと思う。テーマを公募したら、という声もあったが、取り上げて欲しいテーマがあれば、声の欄にお寄せいただきたい。また、当日施行したアンケートで、こんなコーナーがあればよいという主な意見は、若手皮膚科医への心得、先輩皮膚科医の失敗談、実践に生かせそうな話題、毎号の臨床例に対して編集委員のコメントを入れる(Editor's eyeといわれるもの)、対談や座談会を増やす、などであった。

本誌は読者のためのものである。ぜひいろいろな意見を声の欄にお寄せいただきたい、とはいうものの、投稿は少ない。しかし今回のような機会があれば、本誌に対しての要望をいろいろ提案して下さることがわかった。そして今回読者の意見を聞いて、単に症例報告集ではなく自分の考えを述べて欲しいという意見が強いと感じた。先日の編集委員会では提案したが、新しい企画として、日常診療で不思議に思うことや面白いと思っていることを写真とともに自由に記載してもらおうコーナーを、リレー形式でスタートさせることができそうである。毎月ではないかもしれないが、楽しみにしていただきたい。

(T.Y.)

## 次号予告

Vol.40, No.8

## 特集 サルコイドーシス—2018(仮)

- ◆editorial 山本 俊幸
- ◆展望  
サルコイドーシスとリポイド類壊死症 岡本 祐之
- ◆topics  
本邦人における皮膚サルコイド病変の特徴 山本 俊幸
- ◆臨床例  
苔癬様型とびまん浸潤型が併存した皮膚サルコイド 河合 良奈  
サルコイドーシス患者の下腿に生じた結節性紅斑様皮疹  
——隔壁性脂肪膜炎を伴った症例—— 石川 真郷, 山本 俊幸  
片側の耳垂に生じたびまん浸潤型皮膚サルコイドーシス 城内 和史ほか  
粘膜病変を伴い皮膚潰瘍を形成したサルコイドーシス 吉田 杏子ほか  
頸部の巨大結節を呈したサルコイドーシス 上原 顕仁ほか  
酒皸との鑑別に難渋した皮膚サルコイド 江原 佳恵ほか  
リポイド類壊死症との鑑別に要した皮膚サルコイドーシス 乾 恵子ほか  
FDG-PETで探索した心外病変の病理所見により  
確定診断しえた心サルコイドーシスの3例 大嶺 卓也ほか  
高IgG4血症を認めたサルコイドーシス 高橋 綾  
好酸球浸潤を認めたサルコイドーシス 野々垣 彰ほか  
下腿潰瘍を呈したサルコイドーシス 中村 英里ほか  
多様な皮疹を呈した苔癬様型皮膚サルコイド 倉繁 祐太, 赤坂江美子  
メトトレキサートが皮膚病変に奏効した  
サルコイドーシスの2例 玉嶋 恵美ほか  
眼瞼浮腫を主訴に来院したサルコイドーシス 濱崎洋一郎ほか  
発症11年後に皮膚症状が出現したサルコイドーシス 三宅 知織ほか
- ◆学会ハイライト  
第34回日本臨床皮膚科医会総会・臨床学術大会を終えて 谷田 泰男
- ◆私の歩んだ道  
私の履歴書 古川 福実
- ◆皮心伝心  
耳学問と目学問 福田 知雄
- ◆蝶の博物詩 西山 茂夫
- ◆診察室の四季 斉藤 隆三
- ◆皮膚科のトリビア 浅井 俊弥
- ◆声(質疑・応答を歓迎します)

## 皮膚病診療 Vol. 40, No.7(2018)

平成30年6月25日印刷

平成30年7月1日発行

1部定価2,800円(本体)+税 送料82円

年ぎめ予約購読料39,000円(本体)+税

発売所/丸善出版株式会社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17 神田神保町ビル6階

TEL 03-3512-3256(代表・受注センター) FAX 03-3512-3270

編集人 斉藤 隆三

発行人 山田 淳史

発行所 株式会社協和企画

〒105-8320 東京都港区虎ノ門1-10-5 3階

電話:03-6838-9200(代) 03-6838-9225(編集)

振替口座:00190-0-36746

印刷所 株式会社 恒陽社印刷所

ご購入ご希望の方は直接弊社もしくは書店までお申し込みください。

© 株式会社 協和企画 2018年

・JCOPY &lt;(社)出版者著作権管理機構 委託出版物&gt;

本書の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(社)出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969, FAX03-3513-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。